

2 学年

「地元で働く身近な先輩からの講話」を実施！

1月28日（火）6校時、「地元で働く身近な先輩からの講話」を本校武道場において、2年生全員を対象として実施しました。

この講話は、島原半島若者定着促進協議会（島原振興局地域づくり推進課）の企画により、「**島原半島内の高校の生徒に対して、地元で働く身近な先輩からの話を聞いてもらうことで、地元企業に興味を持ってもらい、地元への就職を検討してもらう機会づくりとする**」ことを目的に行われました。この日は、地元の企業として、(株)大光食品、社会福祉法人星のくま、(有)和泉屋の3つの事業所から、若手社員とその上司の方のそれぞれ2名の方に来ていただき、特に若手社員の方に、事業所の概要や実際の仕事内容、地元就職のメリットなどを話してもらいました。中には本校の卒業生の方もいて、高校時代の部活動が社会に出てからとても役に立ったという話もしてもらいました。生徒も先輩の話を真剣にしっかり聞いていました。

若者の県外流出が長崎県の大きな問題となっている現在、この講話を聞いて少しでも地元島原半島や長崎県内への就職を考えてくれる生徒が増えてくれればと思います。



